外部評価　様式　　〔第三者評価委員が参加していない学校・幼稚園用〕

令和４年度　京橋築地小学校　外部評価報告書
評価委員：松岡誠一郎委員長　　徳堂康彦委員　　森田俊秀委員　　鈴木康介委員 田中悟志委員　　金子純平委員 報告書作成者：金子純平委員
評価時期　　令和５年２月

１　重点目標の評価

重点目標１について

・保護者アンケートの「学力の定着や伸長」にかかわる質問や「詩の創作など表現する力」の質問に対して「よくあてはまる」「あてはまる」の回答が増えている。

・実際に子供たちの読書量が増えていることや、教員や保護者の読み聞かせなどの取り組みについてもっと発信してもよいのではないか。

重点目標２について

・学校評価アンケートについて、児童アンケートは経年推移があまり変化がないが、保護者は推移変化が激しい。奉仕活動の項目では、親の目から見てわからないという意見が多数あるのは、子どもにとっても楽しい活動ではないので、家庭で話題になりづらいのではないか。

・異学年間の交流や保育園・幼稚園児との交流活動については、感染症対策を講じた上で徐々に再開をしたことはよい。

重点目標３について

・最近不登校についての話題がよく聞かれるが、個々によって理由は様々だと思う。問題点を絞り、解決していけるようにしてほしい。

・３年ぶりに水泳学習を行い、館山臨海学校を実施することができたことは、子供たちにとってもよい経験になった。また、持久走も体育の学習や休み時間の練習をすることで、記録会で元気に走ることができた。

２　今後の改善に向けた意見

・教員のやることが増えてきているので、時間的、スペース的に削除できることは教職員で相談しながら、教育活動を見直していくとよい。

３　その他の意見

・特認校になって学校の様子に変化はあったか。選んで入学したことがお客様のような意識につながらないことを願っている。

・卒業式のマスク着用について話題になっている。学校として、卒業式、入学式、児童にどう指導していくかが課題だと思う。

・近年、子の躾に対する親のスタンスが気になる。地域の行事等で子を預けたきり様子を見ることもなく、他の親とずっとしゃべっているような人任せな姿を目にすることが増えた。